

児童労働を考えよう「レッドカードアクション」に参加しよう 中居小6年



- ・世界では1億人以上の子供が働いているとは思わなかった。
- ・大人より少ないお金をもらって働いている。
- ・家の事情で働いている子が多いことを初めて知った。
- ・すごく大変な子供がいるんだなと思った。
- ・命に関わるような仕事をしているのに、もらうお金の少なさに驚いた。
- ・自分は、危険な場所や学校に行かずに仕事をするのではないけど、どんな思いで働いているか、どれだけ苦労しているかが少しわかる気がした。
- ・女の子がする力仕事ではない気がする。
- ・日本では目にしない光景があっぴょくりした
- ・学校に行く理由は、将来働いてお金を稼ぐためであって、小さい頃から仕事をさせて、家に少しのお金を入れるだけで完全に家が豊かになるわけではないから意味がない。貧しいならみんなが協力して困難のりきればいいと思った。
- ・このキャンペーンは子供たちをすくってあげるためのことなのでとてもよいと思った。
- ・家族のために学校に行けないで働くことも、あまりお金をもらえないこともかわいそうだと思った。
- ・このことを知って、驚きと悲しみが行ったり来たりしている。
- ・自分たちは学校に行けて、勉強ができて当たり前で学校に行きたくないと言えば言えるけど、仕事をしてケガをしても当たり前になってる子供たちをみると、学校にいけて勉強できることが幸せなのかなあと思うと、学校がんばろうと思った。
- ・ふつうに生活していることが難しくて働いていることがわかった。
- ・本当は学校に行きたいと思っているのに、学校に行けないし、制服もお金もない中で、「無理」だと思いどんどん関心がなくなり、畑仕事に関心が傾いてしまう。つまり、働くことは子供の希望を奪ってしまう恐ろしいものだと思った。
- ・子供がはたらくにはまだ早いと思います。
- ・家族の生活のために子供が学校に行かず働かされているにもショックを受けました。
- ・わたしたちは、大人に助けられているけど、他の国では、自分で働いて生活していることを知り、今の生活ができることのありがたさを感じた。
- ・私じゃ耐えられない。
- ・法律をもう少し厳しめにしてほしい。SDGsに力を入れている人に1票入れたいと思った。
- ・募金をして学校に行けない子供たちを行けるようにしていきたいです。
- ・学校にいけると文字が読めなかったり、書けなかったり貧困状態から抜け出せない。この負の連鎖をとめるためにも子供が学校に行く機会を奪ってはいけない。全ての子供が平等に自由をもてる世界になってほしい。
- ・自分たちがすごく幸せな環境で生活していると理解できた。貧しい人たちにも幸せに生きてほしいと思います。
- ・なんでこんなに多くの人働くのか疑問に思います。どうしたら多くの子供を救えるか考えようと思いました。

- ・私はこんな事も知らずにのんきに生きてきた。
- ・私たちがふつうに学校に行っている間、危険にさらされた状態で働いているのは勇気があってすごいと思う。これからは、働く人に感謝し、児童労働に反対していこうと思う。
- ・今自分がどれだけ幸せかを理解して今自分ができることを考えたいです。
- ・私はテレビで児童労働を見たことがあるけれど、軽い気持ちでみていました。でも、これは本当のことなんだと知って驚きました。児童労働をもっとなくせたらいいのに、私も家のお手伝いをいっぱいしたいと思います。
- ・子供が働くことをやめるには、①道やまちをみんなのお金でたてなおす②いらなくなった洋服などをおくる③多くの国がお金をだして一つでもいいので学校をつくる。
- ・児童労働の監視役をつける
- ・新型コロナが収束し、新しい生活様式がみられれば、あたらしい解決方法が見つかっていくかもしれない
- ・これからはSDGsについてもっとくわしく知り、行動していきたいです
- ・まず学校に行かせることが大切。
- ・児童労働をなくすためにいろいろなことを試してみたいとおもった。
- ・SDGsの取組は素晴らしいとおもった。自分でも何か訳にたてたらいいと思う。
- ・産業用ロボットを送り、作り方、動かし方、材料などの一式を届ける、寄付金を送る。少しでもその人の生活のささえになるものを届ける。
- ・教育を受けた方が将来いろいろな仕事につけるので受けさせてあげたい。
- ・アジアにも児童労働があることに気づいた。それも半数に近い。
- ・少しでも児童労働がなくなるように、フェアトレードマークのものを見付けて買っていきたい。
- ・子供が働いているのはあまり知らなかった。こういう事をたくさんの人に知ってもらい、働く子供の数を減らしていきたい。
- ・生まれる場所が違うだけと考えるともしかしたら自分たちも働いていたかもしれないので助けたい。
- ・世界中の子供たちが働いたものが自分たちのところに届くから、フェアトレードマークがついた商品を買おうと思いました。
- ・女の子が学校に行く必要がないという考え方を変えてあげたい。
- ・コンビニなどで、寄付する活動をするとよいと思う。
- ・私たちは働いていないけど、生きていくために働いている子がいるんだなと思った。
- ・普通に学校に行けていることは普通でない事がわかった。少しでも児童労働をへらしたい気持ちが強くなりました。
- ・貧困のせいで、質の高い教育や自由な生活がなくなっていると知り、同じ子供として悲しくなった。
- ・このことを解決するには、世界で「義務」を作らなければならないと思った。
- ・自分たちは働いている子供たちのおかげで、チョコやサッカーができているんだなと思った。
- ・ベーシックインカム(最低限所得保障制度)を導入すればよいと思う。
- ・初めて見た、知ったことが多すぎた。
- ・私たち贅沢をしていると思うので、しっかりと学習していかなければと思いました。世界の厳しい現実を理解しようと思います。
- ・世界がお金を出し合い、学校を建て教科書を無償配付し、大きく発展させれば住人の考え方も変わるかも。

45 分間の学習の展開

- 1 SDGsについて知る(10分) 6月14日に川口市で取り組んだ「エコライフ」が関わる目標を説明し
みんなも実は、取り組んでいることに気づかせる
- 2 本時の学習問題を知る(7分) 目標の8を中心に、目標1、目標4が関わっていることをおさえる
- 3 児童労働の実態を知る(10分) 2000年からの推移→徐々に減っている→でも2020年は？
→新型コロナウイルスの影響で、児童労働が増加していることを
推測していく。
世界のどの地域で、児童労働が行われているかを知る。
→子供たちが住むアジアの割合が高い事に気づかせる
レッドカードアクションについて説明
- 4 資料を読み、自分なりの考えをもつ どのような児童労働があるか、どんな仕事をしているのか
などが示された資料を読み、レッドカードに書き込む

※本来なら、カードに記入したことを共有したり、深めたりする時間の設定も必要かと思うが、
今回は、その時間を省いた。まずは、児童労働の現実をしっかり把握してもらいたいため。

※一時間だけの授業なので、児童労働問題にターゲットをおいて、数時間の単元構想をつくってはいない。